
**多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 107 号(2022. 1. 24)**

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 107 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、遊休農地で栽培したそばの収穫体験をとおして子どもたちの地域農業への関心と理解の醸成につなげている組織と、「美しい環境づくり」を目標に地域住民を含めて一斉清掃を実施し、特産品の生産を守るため外来生物の駆除も行う組織について紹介します。

また、広報誌紹介では、活動内容を地域に伝えるために、活動組織の役員会で話し合い事務局が広報誌を作成し区の全戸へ配布している事例を紹介します。

事務局からは、「令和3年度多面的機能支払交付金全国研究会 in みやぎ」についてのお知らせがあります。

---第 107 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

☆中尾環境保全会（富山県 ^{ひみし}氷見市）☆

☆大幸 ^{だいこう}地区資源保全協議会（徳島県 ^{なるとし}鳴門市）☆

2. 活動組織の広報誌紹介

☆堤環境保全会（福島県 ^{たなぐらまち}棚倉町）☆

3. 「令和3年度多面的機能支払交付金全国研究会 in みやぎ」 YouTube で配信をスタートしました!

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)～中尾環境保全会(富山県氷見市)～ ■

～ 地区概要 ～

富山県北西部の氷見市中部に位置する平地農業地域を拠点に活動しています。活動範囲は、田 39.0ha、畑 1.2ha、水路 13.2km、農道 5.0km、ため池 2箇所です。

～ 主な取組 ～

◎本地区は、平成 20 年に環境保全会を設立しました。本交付金を活用した農地維持活動を開始し、現在では、農家・非農家の分け隔てなく、地区一丸となり農地の保全活動に取り組んでいます。

◎本組織では、遊休農地において栽培したそばの収穫等を子どもたちに体験させることで、次世代を担う子どもたちの地域農業への関心と理解の醸成につなげています。

◎さらに、地区内のため池の法面に景観作物として芝桜を植栽することで、農村景観の保全・向上に加え、法面の草刈にかかる労力の削減にもなっています。

◎本交付金を活用した様々な活動に地区一丸となって取り組むことで、地区全体で地域の課題や問題意識を共有することができています。今後も引き続き、鳥獣害対策や農地維持活動など、当地区の更なる活性化を目指して頑張りたいと思います。



農家・非農家が協働で行う水路泥上げ



そばの収穫体験



ため池法面の芝桜

【中尾環境保全会代表：上治雄】

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2) ~^{だいこう}大幸地区資源保全協議会 (徳島県 ^{なるとし}鳴門市) ~ ■

～ 地区概要 ～

徳島県鳴門市の南部に位置する平坦地で、
水稲のほかに、鳴門市の特産品であるレンコ
ンの産地です。平成 24 年度に設立され、田
73ha、畑9ha、水路18km、農道7kmが
活動範囲です。

～ 主な取組 ～

◎ 「美しい環境づくり」を目標に活動

毎年5月と11月に農業者、消防団、地域
住民や子供会で一斉清掃を行うことで、地域
景観の保護及び景観形成の一環としてコスモ
ス街道を整備しており、きれいな花を咲かせ
るために、夏場の水やりを当番制にする等の
工夫をしています。

7月には、農家総出で地域の農道の通行に
支障が出ないように路面補修を行い、ゴミポイ
捨て禁止の看板等を設置し、景観、自然環境
を守るために地域外の方々に協力を求めてい
ます。

◎ レンコンの産地を守り維持する活動

^{だいこう}大幸地区には県内最大のレンコン産地が広
がっており、多様な生物を育む豊かな自然が
あります。このため、市内で羽化したコウノ
トリがえさ場を求めて飛来します。しかし外
来生物であるミシシippアカミミガメが、レ
ンコンの新芽を食い荒らす食害が深刻化、ま
た、生態系への影響も懸念されることから本



^{だいこう}大幸地区の一斉清掃



満開のコスモス街道



農道の路面の補修(バラス入れ)



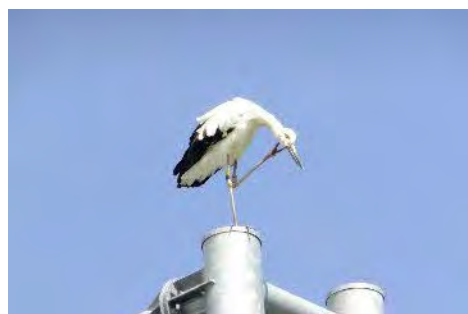
ゴミポイ捨て禁止看板の設置



外来種カメの駆除 (捕獲用網での採捕)

対策で駆除を行っています。

今後も ^{だいこう}大幸 地区の自然環境を守るため、農業者が積極的に地域住民を巻き込み、関係機関の協力を得ながら、更に活動の輪を拡げて行きたいと考えています。



作業中に飛来したコウノトリ

^{だいこう}【大幸 地区資源保全協議会 代表 濱堀秀規】

■2. 活動組織の広報誌紹介 ～堤環境保全会(福島県 ^{たなぐらまち}棚倉町)～■

広報誌の概要

- ◇ 年1回、1月の区会開催時に区全戸へ紙媒体で「堤環境保全会だより」を配布しています。
- ◇ 昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保を心掛け感染防止対策を行い実施した共同活動の取組を掲載しています。感染拡大防止対策により事業計画どおりの活動を取り組むことができました。

～ 工夫しているポイント ～

○ポイント1：見やすく、わかりやすく掲載！

広報誌は、役員会で話し合い事務局が作成しています。写真を多用し見やすく、また分かりやすい文章で書くことを心がけています。

○ポイント2：活動を振り返ります！

昨年の活動を振り返り次年度の活動に向けて区全体で意識向上を図ります。

○ポイント3：制度の概要と活動内容を掲載！

多面的機能支払交付金事業制度をわかりやすく紹介しています。また、共同活動を知ってもらうため草刈や土砂払い等活動毎に共同活動の写真を掲載しています。

ポイント1 見やすく・わかりやすく掲載！

広報誌は役員会で話し合い事務局が作成しています。写真を多用し見やすく、また分かりやすい文章で書くことを心がけています。

堤環境保全会だより

堤環境保全会

2021/01/01

令和3年第1号

会長あいさつ

小山田 正三

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により国内、県内、町内において、感染者が発生し、新たな生活様式への対応が呼びかけられております。

当地区においては、感染者は発生しておりませんが、体温測定や、消毒など対策を講じながら、農村環境の保全に努めてまいります。

少しずつではありますが、農村環境の保全に、地域全体の活動により、この地域を守ってまいります。

この地域のすばらしい環境を子や孫の代まで繋いでまいりたいと考えておりますので、今年もご協力をよろしくお願い致します。

多面的機能支払交付金事業とは！

平成19年度から農水省の事業として始まり、国が50%、県と町が25%づつ交付金を支出する事業で、5年間継続する事業です。

共同活動を通じ、将来、農村地域の後継者不足などにより農地や水利施設をお荒廃することを防ぎ、農村の有する美しい景観を守ってまいります。

事業計画は、用水路清掃や農道の草刈り、直営による修繕工事が大部分ですが、環境保全という観点から各施設の点検や花の植栽など様々な事業が計画され実施されました。

昨年の実施事業を紹介いたします。

地域共同による農地、農業用水、農村環境の保全活動の例

井堰普請



大池草刈



花壇の植栽



赤沼用水路土砂洗い



大堀用水路草刈り



農道敷砂利



美しい農村環境を維持し未来の子供たちへ

ポイント2 活動を振り返ります！

昨年の活動を振り返り次年度の活動に向けて区全体で意識向上を図ります。

ポイント3 制度の概要と活動内容を掲載！

多面的機能支払交付金事業制度を分かりやすく紹介しています。また、共同活動を知ってもらうため草刈りや土砂洗い等活動毎に共同活動の写真を掲載しています。

【堤環境保全会】

■ 3.「令和3年度多面的機能支払交付金全国研究会 in みやぎ」

YouTube で配信をスタートしました！ ■

本研究会は、農業・農村の多面的機能の発揮の一層の促進を目的に、多面的機能支払交付金を活用した先進的な活動事例の情報を共有するとともに、活動の更なる充実や活動組織や推進組織などのネットワークづくりのため、毎年開催しております。

例年、多面的機能支払交付金の活動組織や市町村の方々にお集まりいただき、発表会と現地視察とを併せて開催していましたが、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として YouTube にて動画配信しています。

第1部の事例発表では、「多様な参画・連携の促進」と「多面活動前後の地域コミュニティの変化」をテーマに、NPO法人や大学生との連携・交流を進めながら活動されている事例や、今話題の田んぼダムに取り組んでいる事例など4つの事例を発表いただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、国の多面的機能支払交付金第三者委員会の委員もお務めいただいている(株)パイロットフィッシュ代表取締役の五日市知香氏をコーディネーターにお迎えして、「多面的機能支払交付金と地域の活性化」をテーマに、よりよい地域コミュニティ形成のためのポイントや多様な人材や団体が参加することによる効果について議論していただきました。



動画は、宮城県多面的機能支払推進協議会の YouTube で令和4年3月31日(木曜日)までの限定配信ですので、みなさま是非ご視聴ください！！

▽配信期間及び配信場所▽

令和3年12月27日から令和4年3月31日まで、宮城県多面的機能支払推進協議会の YouTube で配信しています。

(下記リンクまたは右の二次元バーコードからアクセスできます)

<http://www.nmk-miyagi.org/>



▽全国研究会の詳細や発表資料のダウンロードはこちらから▽

多面的機能支払交付金全国研究会 Web サイト (農林水産省)

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamenn_kennkyukai20.html

▽多面的機能支払交付金の詳細はこちらから▽

多面的機能支払交付金 Web サイト (農林水産省)

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

高めよう 地域協働 の力!



令和3年度 多面的機能支払交付金 Web 全国研究会 *In みやぎ*

配信期間

令和3年12月27日(月)から
令和4年3月31日(木)まで

Web配信

視聴
無料

宮城県多面的機能支払推進協議会
YouTubeチャンネル
URL : <http://www.nmk-miyagi.org/>



宮城県多面的機能支払推進協議会

検索

第1部 事例発表

「多様な参画・連携の促進」
「多面活動前後の地域コミュニティの変化」

発表組織

宮城県加美町 石母田ふる里保全会
宮城県仙台市 三本塚集落資源保全隊
山形県鶴岡市 いなばエコフィールド協議会
福島県南会津町 なかあらい大地を育む会活動組織



第2部 パネルディスカッション

「多面的機能支払交付金と地域の活性化」

コーディネーター /
五日市 知香 氏

(調パイロットフィッシュ代表取締役)

パネラー /

小野 吉信 氏
(宮城県仙台市 三本塚集落資源保全隊)

佐藤 友二 氏
(山形県鶴岡市 農地・水・環境保全組織
いなばエコフィールド協議会)

嶋崎 康二 氏
(一般社団法人かかしの一本足かえるのあくら)

秋永 邦治 氏
(農林振興局農地資源課 多面的機能支払推進室)



<主催> 農林水産省 宮城県 宮城県多面的機能支払推進協議会
<お問合せ> 宮城県多面的機能支払推進協議会 TEL: 022-263-5829

～ 組織・登壇者紹介 ～

★農林水産大臣政務官からのメッセージ

★第1部 事例発表

宮城県加美町 **石母田ふる里保全会** 渡邊 哲 氏
 NPO法人化して農業法人や学校PTA等多様な参画で活動を展開
 平成28年度に多面的機能支払交付金優良活動表彰で宮城県知事賞を受賞



宮城県仙台市 **三本塚集落資源保全隊** 佐藤 敏之 氏
 震災の津波により被災するも、3年で農地を復旧させて活動を再開

山形県鶴岡市 **いなばエコフィールド協議会** 佐藤 友二 氏
 田んぼダムをモデル的に実施して地域の防災・減災への意識醸成を目指す



福島県南会津町 **なかあらい大地を育む会活動組織** 渡部 雅俊 氏
 NPO法人等と連携して多様な活動を行っている
 令和元年度に多面的機能支払交付金優良活動表彰で福島県知事賞を受賞

★第2部 パネルディスカッション

三本塚集落資源保全隊代表であり三本塚町内会の会長。地域住民と協力して農地復旧に取り組み、3年での活動再開に尽力するとともに、活動参加者を増加させ、地域の活性化につなげている。



パネラー
三本塚集落資源保全隊
 代表
 おの よしのぶ
 小野 吉信 氏

コーディネーター
株式会社パイロットフィッシュ
 代表取締役



いつかいち ちか
 五日市 知香 氏

株式会社パイロットフィッシュ代表取締役。食農連携コーディネーターや6次産業化ボランティアプランナーを務め、食農連携推進に向けた商品開発コーディネートなどで活躍。

大学卒業後、外資系生命保険会社、信用調査会社を経て、H29(一社)かかしの一本足かえるのあぐらを共同設立。令和3年4月から「みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会」事務局長に就任。



パネラー
 一般社団法人
 かかしの一本足かえるのあぐら
 地方×都市部コーディネーター
 しまさき こうじ
 嶋崎 康二 氏

パネラー

農地・水・環境保全組織
いなばエコフィールド協議会
 因幡堰土地改良区事務局長



さとう ゆうじ
 佐藤 友二 氏

因幡堰土地改良区事務局長。子供会等と連携したイベントでの説明や、郷土研究サークルの支援として講演を行っている。

■ 編集後記 ■

読者のみなさまこんにちは。新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひします。先日は東京でも雪が降り、2cmほど積もっていました。当日は天気予報をチェックしておらず油断しており、普通の格好で出勤していたので滑る道にひやひやしなから帰宅しました。しかし、雪が積もると見慣れた景色も綺麗に見えて思わずたくさん写真を撮ってしまいました。

いつも本メールマガジンを読んで頂き、ありがとうございます。まだまだ厳しい寒さが続きますので、みなさま、どうぞご自愛ください。また次号もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：藤原、小貫）
TEL：03-3502-8111（内線5493）